

施設名

アルシェクリニック

記載年月

2022年 4月



『施設情報』

アルシェクリニックは、JR大宮駅西口前のアルシェビル最上階(8-9階)にあり、今年で開院16年目を迎えます。令和1年度、9階フロアを全て健診センターに改装、8階に外来ブースを新設するという大幅改装が実施され、新生アルシェクリニックとして4年目のスタートをしたところです。昨年度はコロナ禍ではありましたが、感染対策を実施しながら多くの受診者様に来院して頂きました。

健診センターでは、人間ドック・生活習慣病健診をはじめ各種健診を実施しており、リニューアル時にエコー・胃カメラを増設、3Dマンモグラフィも導入され、コンパクトながら病気予防と健康維持に貢献できる体制を整えております。また施設として質の向上に取り組んでおり、スタッフや施設の資格取得等、積極的に取り組んでいます。

外来では、生活習慣病に特化した内科やヘリコバクターピロリ専門外来を開設し、健診後の診断治療に対応しております。専門医による乳腺外科、睡眠外来の夜間診療もあり、予防医学からそのフォローまで幅広く技師が活躍できる場所でもあります。

『職員構成と業務内容概要』

* 検査科職員数

臨床検査技師14名 (常勤8名・非常勤6名/男性0名・女性14名)

* 検査科勤務体系

原則8:30~17:30 (早番あり・遅番なし・待機なし・当直なし)

* 検査科業務内容

超音波検査を中心とした生理検査及び尿一般・検体処理等

* 2021年度超音波検査件数実績

24,332件 (腹部 15,381件・乳腺 8,815件・他136件)

* 超音波診断装置の使用機種・保有台数

Aplio450 :2台、Aplio500 :2台、Xario XG SSA-680 :3台 (キャノンメディカル)

『取り組み内容』

乳腺専門外来を週1回実施しており、乳腺超音波検査はスクリーニングから外来での精査まで数多くの症例を経験しています。超音波検査が主業務なので、乳腺領域をはじめ超音波検査全体の質の向上を目指し、日々精進しております。

超音波検査は画像を撮る技師に委ねられる部分が多いため、専門医立会いによる画像読影や症例検討会を行い、技術・知識の振り返りと定着に努めております。各個人も外部の研修会・学会等に積極的に参加し、自己研鑽に励んでいます。H30年度は、第46回埼玉県医学検査学会で演題「中枢型乳管内乳頭腫の長期経過観察中に浸潤癌と診断された1例」を発表、優秀発表賞を受賞しました。高い専門性の習得・維持を目指した結果として、以下の認定資格を持った技師が勤務しており、施設評価も取得しました。

- ・日本超音波医学会認定 超音波検査士 消化器:3名 体表:3名 健診:2名
 - ・日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波試験 A評価:4名
 - ・日本超音波検査学会コントロールサーベイ 腹部/体表/健診領域:A評価
 - ・全国労働衛生団体連合会腹部超音波精度管理 A評価
- 今後も、検査科スタッフ一同、より一層努力していきます！